

## 附属機関等の名称 会議概要

- |   |           |  |
|---|-----------|--|
| 1 | 審議会名      | 第8回交流学習センター施設検討委員会   |
| 2 | 日時        | 平成18年6月14日 午後7時～午後9時30分  |
| 3 | 会場        | 三郷公民館講堂  |
| 4 | 出席者       | 益子委員長、草深副委員長、丸山委員、中島委員、細野委員、松尾委員、中田委員、山田委員、藤原委員、巻山委員、中嶋委員、細萱委員、小口委員、三枝委員、松田委員、細川委員(まちづくり推進課長)、松枝委員(社会教育課長) |
| 5 | 市側出席者     | 望月教育長、小林次長、曾根原文化振興係長、財津文化振興係主査、丸山豊科教育課生涯学習係長、原野穂高教育課生涯学習係長、那須野三郷教育課生涯学習係長、小穴児童保育課児童係長、小松三郷総合支所健康福祉課長       |
| 6 | 会議概要作成年月日 | 平成18年6月28日   |

## 1. 会議の概要

交流学習センターに計画されている(児童館、顕彰館、ギャラリー)についての検討

その他

## 2. 協議

・今までお話し合いで決めて頂いたことを、事務局でまとめて頂きました資料をお配り頂いた。前回の会議では複合施設ということで、図書館だけではなく、地域の為に色々な活動ができる、地域の皆様方が欲しいとおっしゃるような施設を創ろうではないかということでお話を頂いたので、その方向で本日はお話を進めたい。事務局の方でひとつの案をまとめて頂いたので、ご説明お願いしたい。

・本日の事務局サイドからの提案をまず申し上げたいと思う。穂高交流学習センターには、中央図書館に併設し、中央図書館が収集する歴史資料や地域資料、専門書等を活用し、市民の主體的な地域史、地域文化等の学習、研究の場としての、そしてその成果の発表や、市の誇る人物、歴史、文化等の展示の機能をも有する「地域学習の拠点」を整備することとしたい。補足すると、顕彰館という範囲が狭くなりかねないので、少し見直しをさせていただきたい。市民の広範な生涯学習の場として、歴史資料や地域資料などの活用の方法として、市民皆様方が積極的に地域の歴史、文化、産業を学びその成果を発表する場として、市の拠点施設と、中央図書館のある穂高交流学習センターに位置づけたい。続いて、豊科交流学習センターについては、図書館の分館整備とあわせて、豊科近代美術館が不足している機能を補完する整備を行い、十分な活用がなされていない市内の貴重な美術品等についても収集、保管、展示ができる美術、芸術部門では市の基幹施設の位置づけができる施設としての整備を行うこととしたい。このため、建設位置は近代美術館南としたい。

以上、今回建設位置についても提案させていただいた。豊科交流学習センターの図書館は、分館としての位置付けはとなるが、美術館部分については、安曇野市を代表するような基幹美術館としての整備を合わせて行いたい。行政資料、地域資料の収集、藤森桂谷の顕彰については穂高に集約していけば、豊科でなやんでいた部分がきちんと整理されていくのではないかと、また穂高会館に保管してある小川大系の資料は、豊科の交流学習センターのほうで収集すればよいのではないかと考えている。それでは3番目として、三郷交流学習センターについて。健康福祉部から三郷の交流学習センター内の児童館のありかたについて資料をいただき、三郷村段階での約600㎡という案はやや小さいのではないかと意見を申し上げた結果、中間的な報告内容をまとめた資料が出来たので、その内容を踏まえて今後の方向について提案をさせていただきたいと思う。三郷交流学習センターについては、図書館の分館整備とあわせて、旧三郷村の児童館機能の計画内容について、健康福祉部作成の見直しの基準に基づき、施設規模を拡充変更することとし、計画の位置(三郷中

学校北)に建設することとしたい。建設地につきましては、前々回に穂高の建設場所につきまして図書館との関連から提案しました。今回は豊科、三郷につきましても、計画を継承しているという立場から、根本的にはこういった立場でご提案せざるを得ないというのが私共の結論。

・3つの地域でのそれぞれの施設について、この所をちょっと聞いてみたいというものは？

・全体的なことですと大変なので、どれか地域ひとつずつご議論頂いたらどうか。

・今のご説明を聞くなかで、我々の会ってというのはいったい何だったんだ。もうこういう、今日の説明で児童館、顕彰館、ギャラリーを作るんだってという設定があったのか？何が必要かということをもまず検証しなくて、合意が無いままにこういう施設については作りますよと、旧3町村の予定があるからその土地に持って行ってとりあえず作ってしまえと。そんな姿勢が見えて、我々の委員会というのはただ単なる行政からの可否を論ずるだけの諮問会議なのか。全市民的な住民の声はどこに反映されているのか、単なる諮問。そういう事でいいのか。

・前回の委員会で分館は複合施設でということになったので、事務局のほうでご提案いただいたということだと思う。

・規模なり、建設の概算予算についてはどのようにお考えか。

・私共が提案した内容について、お金の裏付けがあるかと言えば全くない。少なくとも、どうあるべきかという事例的な部分をご提案申し上げて、それについてご議論頂くなかで、方向が定まってくれば、いわゆる、お金をどうするか？という議論は必要になるかと思う。旧3町村から出して頂いた計画については、お金が入った資料を配布したが、穂高はかなり変わってくると予想している。特に中央図書館についてはかわってくると思う。そういう気持ちはそれぞれの地域について持ってはいるが、実際の所どうなるかという視野は持ち合わせていない。

・規模は？

・規模もこういった機能が必要だご議論頂いて、どの程度規模が、という。こういった形、というのを想像してご提案申し上げている訳ではない。

・穂高の顕彰館機能について、市の中心とあるが、まえに私が提案した文書館の機能もこのなかに入るのか。

・まだ具体的に入るとは申し上げられない。ただ今までの経過のなかで、中嶋委員さんからそういうご提案があったということ、また事務局でもそういう施設が必要との認識は持っている。ただ、それは検討委員会のなかで方向付けがきちんとされてはいないと思うので、まず大きな部分に理念についてご議論頂いて、先に整理する段階で、文書館は統一されるか、こういった方向で進むとすれば、ご議論頂きたいと思う。

・ちょっと整理をさせて頂く。先程の質問は、検討委員会として社会教育委員会の提案を受け入れていっていいのかということの問題があると思うので、その部分についてご意見をいただきたいと思う。

・複合施設ということで決められた、ということは納得するが、図書館は中央図書館を作る、中央図書館を複合施設にするということで決められたと私は思う。全て他の旧町村から出されたものが、老朽化したものは作り直さないといけないけれども、それ以外のものについては、今の施設で活用できるものに持っていったらどうかということで古い施設を見学に行った、と考えている。今日、3施設とも全く新しく作っていくということでお話を頂いたことは、私にも理解できない。

・否定してしまった訳ではなくて、今回は社会教育課の案ですので、それについて皆さんからご意見を頂いて、駄目な所は駄目、こっちを使って欲しいという事なら使えばいいと思う。三郷の支所も使える所があれば使っていけばいいと思う。皆さんのご意見次第で変わっていくこともある。これは提案。大切な討論ですけども、皆さんで変えていって頂いていいと思う。

・私は民間の出身なものですぐこういうことを考えるが、図書館とか児童館は、お金を稼ぐ施設ではない、しかしギャラリーとか美術館といったものは、やりようによっては経費程度はまかなえる、そういう発想が必要だろうと。で、こういった施設を作るにあたって、基本的なビジョンが何も提示されていないし議論もされていない。こういった考え方に基づいてこういった施設を作れば市民の為にもまた経済的にもいいのかというビジョンが全然作られていない、で、いきなりこういう施設の名称が出てくる。これは私非常に嘆いてはるし、この施設を作るにもお金が要る。いかにお金をかけずに効率的に作ったり利用したりしていくか、

これがやっぱり一番大事だと思う。安曇野市は比較的財政的には豊かと言われているが、そうかといって合併特例債を使わないとおそらくできない。ただ、さしあたって安易に特例債を使うことは、市の借金は国が負担するということがいいが、我々市民からすれば、市に借金が残るか、国に借金が残るかというそれだけの違い。ですからなるべくお金をかけないでしかも合理的に、また将来的に渡ってお金を稼げるような少しでも稼げるような、そういうものを作っていく必要がある。顕彰館とかギャラリーについても、それが本当にビジョンとしてきちんとできていて、市民のためになるのかどうか。児童館の施設も必要だということとはわかります。しかし、ここで立派なものをお金をかけて作ってしまって、他の地域とのバランスはどうなるのかと。そういう事も危惧される。それがぼっと通っちゃったということになると、市の将来に対する希望が無くなってしまったなあと、そういう感想を持たざるを得ない。もう少し市民の声を聞いて、討論して欲しいと思う。

・浦安市という所なんですけれども、図書館がとても有名。東京ディズニーランドだけが有名ではなくて。ここは規模とすれば松本の中央図書館とほぼ同じ規模で、入ったみた感じも、施設ものすごく新しいとか、変わっているという建物ではありませんでした。ただ私たちの持っているイメージと全然違うのは、とにかく30代から40代にかけての男性が利用しているということ。文芸書、文芸書以外、レファレンスルーム、雑誌コーナー等にとどのくらい人がいたか、男女別に数えてみたが、文芸書以外のコーナーには、10人位は30代位の男性がどんどんといた。女性はほとんど見かけなかったくらい。レファレンスルームは働き盛りの男性の方が自分の仕事のために調べものをしに来ている感じ。逆に一番読まれるのではなかろうかという文学・小説の類は、ここは本当に閑散としていた。雑誌はそこそこ人がいた。この図書館の一番すごい所は利用率で、60%、1年間に市民の60%が図書館を使ったという事でこれは驚異的な数字。それは何故かという、ひとつには資料の充実ではないかと思う。例えば年金というテーマのコーナーを見ていると、どれも充実していて新しい内容で10冊以上並んでいる。もうひとつはサービスの充実だと思う。今全国の図書館の流れというのはビジネス支援っていうのが言われている。活用される図書館をつくらうということがここでは徹底されている。それからフロアサービス、何か探している人を見かけると司書さんが積極的に声をかけている。あと、障害者などハンディキャップサービスもとても充実している。全ての市民にとって活用できる図書館であって欲しい。女性、子供、お年寄りにとって活用できる図書館を考えがちだが、仕事や生活に活用できる図書館・サービスであって欲しいと思う。こういう図書館を運営できる館長を選んで欲しい。明科の図書館は、明科の町の方ではなく松本の方が来て下さっていると聞いた。そのおかげで良い図書館になったと聞いた。安曇野市のなかに、適任者がいないのであれば全国公募でもいいので是非図書館長を選んで欲しいと思う。

・進行だが、今、事務局から提案がされて、それについて検討しようという形の所迄来たが、委員さんから予定したものじゃない、という意見がでた。では話をどういう風に持っていけばいいかなと皆さんも考えていると思うが、今までの進行から考えても、中央本館、分館を決め、本館の場所も決まり、複合施設も決め、みんなで了解してきている訳で、じゃあ今度の提案として3つについてはこうしようという提案が出た。そしたらそのことについて、最初の各地区の検討しているものと、違う部分が今出てきているということがわかるので、それが果たしていいのかどうか、それがこれからの問題じゃないかと思うので、この所は多数決でもいいので決めてもらいたいと思う。

・多数決は妥当ではないと思う。少数であっても素晴らしい意見であれば尊重すべき。

・ひとつずつ取り上げてもらえば理解しやすい。この3つの機能はそれぞれ違うので、3つ並べないで順序を追っていかないと。提案だが、顕彰館ならそれを取り上げて、それをまず議論していくのはどうかと。次はギャラリー、次は児童館と、順を追ってひとつおりにやっていくことを提案。

・新市になりまして、施設が370あると聞いた。全市的に使えるものは無いというのが現状。最低限のものは作っていかないといけない。それは同感。それは何か、何が必要なのかという議論がちっともされていないと思う。顕彰館という施設が必要なのかという議論はされていないと思うがどうか？図書館もいきなり計画に入ってしまったが、それは皆の合意があったので良いが、その他には何が必要か話し合った上で、そういうものについて話をされたいかと思う。

・事務局として補完すべき部分がありますのでご説明申し上げたい。図書館の機能については、先にきちっとするのではなく、いろんな機能を有する図書館ということで、そういったものも提案した方がスムーズに行くのかなと思ったので今回新たな資料をご提示申し上げた。三郷の児童館については、若干各論的な部分がある。これは、今のところ他地域と違い三郷だけが児童館が方向付けがされていない。地域の方にとっては不安でしょうし、必要な必要ということでこの会の議論のなかで確定していただきたい。市が計画は進めるのですが、三郷の交流学習センターのなかに位置付けられているため、ここで確定していただかないと健康福祉部でも進められないという事情がある。市の全体的な計画のなかで、空白部分である三郷についても方向付けをして頂きたい。顕彰館、ギャラリーについては、この2つの施設を作ることにより、いままで各地域ごとに考えていた交流学習センターが、安曇野市にとって全体を考えたなかで、一方では中央図書館を獲得でき、一方では基幹美術館を獲得できる可能性があるのではないかと、このことがとりもなおさず全市を見据えた施設計画ではなかろうかと思う。その必要性については、十分に議論をしていただいて、そのなかで複合的な要素について議論していただければありがたい。全市を網羅できるような美術館がある程度できる気がしている。それから郷土資料館の施設をどうするかという議論は、今後あるかと思うが、穂高の施設のなかで展示し、広く市民が享受できるのではないかと思う。これからはかなりの数の市民が利用できる図書館をつくるべきだと思う。郷土資料館に眠っている資料がすぐに施設の整備できなくても、市民の皆さんにいろいろな資料、情報をお知らせしていくこともつながるのではないかと思う。

・市にとって必要なものを思いつくままに書いて出しましたが、皆さんも出せばいいと思う。必要なビジョンであれば、どういう風にして作るかと深めていくといい。個別の話の間を行き来しても進まない。こういうものがほしいということを取りあえずあげる、その理由を簡単にまとめ、そんな所から話を進めていくのがいいと思う。

・検討していただくことに付け加えていただきたい。浦安市の図書館の報告のなかに、全ての市民にとって、いつでも気軽に活用できる施設であって欲しい、ということがありました。中央施設はそれなりに充実させる必要があると思いますが、三郷は文化施設の整備が遅れている。コンサートや講演会を行う場所がここしかありません。ホールが是非とも欲しい。検討して頂きたい。

・具体的な問題のなかで、善し悪しを論じて皆で決めていけないといけない。少なくとも今日は委員長の提案の方向で議論していけばいいんだということは決めなければいけないと思う。

・何が必要なのか決まらないままに、旧町村の話の続きだけを取り上げることを話し合うことに私は納得できない。新市に何が必要なのかということは何故話し合ってはいけないのか？新市として何が作りたいのか。

・それを話し合ってはいけないという訳ではない。まず、何が欲しいということで図書館が欲しい、案として社会教育課から出していただいたので、これを討議するのもよし、その他でもいいと思う。

・私はあまり考えないまま案を出した訳だが、その内容について話し合われないまま、作ろうということになってしまっている。いつの間にか必要だという話になって。合意はされたのか？

・案があれば出していただければ、それについて議論していただこうと話しているわけだが。

・今までの流れのなかで、話し合われてきたことは、かなりの時間をかけて住民の要望を聞いてきたものだった。全市的に考えてきた訳で、ひとつひとつ確認してきた。それをご破算にして全て出すということが全市的な立場になれるのか？

・案を頂ければそれについてお話をしましょう、ということ。

・前回の時に複合施設ということで、本館と分館、それぞれ複合施設でということで前回確認がされた。今日、事務局の方から従来からの各地域の要望である顕彰館、ギャラリー、児童館がそれぞれ事務局の案として複合施設に入れたらどうでしょうかという案だった。ですから私はそれについては賛成。ただ顕彰館なりギャラリーだけを案としてそれがコンクリートだとそれはいただけない。例えばホールが欲しいとか出ているが、資料館的機能はどうするのか、委員の皆さんから出てきた案を検討していただいたらどうかということなので、そういう方向では私は賛成。

・誤解されている向きがあるかと思うが、私は複合施設がいけないとかそんなことは、何も言っていない。複合施設として何を考えるのか、その基本が出来ないままに皆の合意のようなかたちで出てきちゃったとい

うのがおかしいと言っている。私も提案してあるから、つくるものには賛成。賛成だが、他に何か必要なものがあるんじゃないかとか、これを作るにあたってはどういう基礎的なビジョンのもとに作ろうかとか。その辺がきちんと決まっていなくて進まないと思う。旧町村レベルでの話し合いはひとつの提案ではあると思うが、全市的に合意されたものではないということで議論を進めていくべきだと思う。何が欲しいのか、何が必要なのか、そこを話し合わないと複合のしようがないと思う。

・今日事務局で出されたものを一応確認して、他にはということになっていかないと、いつまでたっても先に進まないと思う。

・全部一度にお話ができないので、どこかひとつから、ということではいかがでしょうかとご相談申し上げたが、今日は時間になってしまったので大変申し訳ないが、次回お考え頂いて進めていければと思う。大変遅くまで不慣れな司会で申し訳ない。進行のご協力よろしくお願ひしたい。

・まちづくり推進課の方から皆さんに宣伝。昨年、穂高でアンケート調査がなされた。住民対象と三鷹市の皆さんの安曇野に関するアンケート調査が信州大学との連携事業の中でなされ、これの発表会がございますので、予告して、皆さんの参加を求めたいと思う。次の日曜日 18 日、午後 1 時 30 分から堀金地域のサブアリーナを会場に開催。

・最後に、次回の日をちを決めておきたいと思う。次回 28 日の 7 時から。ありがとうございました。